



『第1回おおさき チャリティー夏まつり』が開催

8月26日(日)の午前10時より、大崎町商工会青年部主催、町青年団・高校生クラブ協力で「第1回おおさきチャリティー夏まつり」が、くにの松原芝生広場において開催されました。

当日は、大崎幼稚園児による遊戯や町青年団太鼓等の舞台演芸、かき氷早食い競争、チャリティー子豚レース、チャリティービンゴ大会が行われました。主催者側がその場で、24時間テレビチャリティーへの協力を呼びかけたところ、91,320円を来場した皆様からお預かりすることができました。チャリティーへのご協力、ありがとうございました。

『救出大作戦』で出てきたのは…!?

7月31日(火)、国道220号沿い中段集落にある中華料理店の裏は騒然となった!

3日前から、聞いたこともない泣き声をするのだ。そこで、中華料理店の店長が曾於南部消防に通報し、レスキュー隊が出動!「救出大作戦」が始まった。店長の案内で現場に行ってみると、古井戸で、もぞもぞと動くものが…。ハシゴを準備し、隊員一人が古井戸の中へ。

10分間におよぶ救出劇の後、出てきたのは生後3か



月程の「子ダヌキ」だった。

何が起こったかわからない子ダヌキは、キョトンとした顔で、山の中へそそくさと帰っていった。

3日間、なかなか寝付けなかった店長も、その様子を見て「ホッ」と肩をなでおろした。

救出した隊員に話を聞いてみると、なんと大崎町野方出身の方ということで、地元の珍事件に苦笑いを浮かべていた。

当日は、消防車3台が出動する救出劇になったが、なんの被害もなく、無事に救出大作戦終了となった。

『大崎分館子ども会が海ガメを放流』

8月17日(金)、益丸海岸で大崎分館と大崎分館子ども会育成連絡協議会が合同で、海ガメ放流を行いました。放流するにあたって、海ガメ保護監視員の大和隆信さんが、注意点など、話をされ、参加者は真剣なまなざしで聞いていました。

当日は、小中学生62人、保護者43人の、計105人が参加し、152匹の海ガメを太平洋へ放流しました。進んでは波に押し戻される子ガメを応援し、見守る子ども達の目は、夕焼けの太陽の光のようにキラキラと輝いていました。

